

児童生徒の「主体的な学び」を促す授業実践

1 基本情報

◇各教科等 作業学習

◇学部・学年 高等部 第2学年

◇単元名 紙製品作り

◇単元の目標

- 作業に取り組む姿勢を身に付けることができる。
- 作業に必要な動きを身に付けることができる。
- 作業に必要なコミュニケーション能力を身に付けることができる。

◇付けたい力 活動内容を理解して自分から活動をしようとする。

◇本時の目標 自分から作業に取り組もうとすることができる。

◇生徒の実態

- ・周囲が気になり取り掛かかるまでの時間が長い。声かけがないと行動できないことがある。早く終わらせようと新聞紙の数を意識せず間違えることがある。
- ・日によって作業する時と嫌がる時がある。嫌な時は道具を投げたり、声を出して怒ったりする。指導者とのやり取りを通して 20 分程度作業し続けることができるようになってきたが、それ以上の集中は続かない。

2 期待する児童生徒の姿

自ら目標を決めて作業に取り組む。

支援が必要な生徒は、作業をしたいことを支援者に伝えることができる。

3 指導者が捉えた児童生徒の「主体的な学び」

- ・作業の流れを理解し、自分で必要な道具を準備することができた。
- ・一人で作業し、必要な時に支援者にカードで支援を求めることができた。
- ・プリントにシールを貼って自己評価することができた。
- ・自分で手を伸ばして作業することができた。
- ・ロッカーの扉が開いていることを知り、自分から閉めに行くことができた。